


様式1 厚木市報道資料		発 信 日	
 (制度、その他一般等)		令和5年10月10日	
～デジタル技術を行政事務に活用～ 生成 AI サービス実証実験の実施結果について			
1	目 的	<p>デジタル技術の活用により効果的・効率的な行政運営に取り組むため、生成AIサービス「ChatGPT」の実証実験を実施しました。</p> <p>人工知能を用いて生成される情報を活用し、効率化が見込まれる事務の洗い出しを行うなど、本市における導入効果を検証しました。</p> <p>【実施期間】 5月23日～8月23日 【利用人数】 102人（アンケート回答は83人）</p>	
2	背 景	<p>デジタル化による市民サービス向上を目指す本市では、生成AIサービスの活用により、業務の効率化や業務負担の軽減、コスト削減など、さまざまな効果が期待できることから、導入効果を検証するために実証実験を行い、導入に向けた検討をする必要があります。</p>	
3	PRしたい内容、セールスポイント、前回との違いなど	<ul style="list-style-type: none"> ・実証実験の結果、「ChatGPT」の活用で文章の作成や要約、アイデアの創出など、さまざまな業務で作業時間の削減に効果があることが分かりました。 ・有効な利用方法が把握できたことで、さらなる業務効率化やコスト削減などの導入効果が期待できることから、本格運用を行っていきます。 	
4	他市の状況	県内では横須賀市が実証結果を公表	
5	添付資料	実施結果概要	
6	本資料の問合せ先	部課名	政策部 情報政策課（課長 佐藤 博之）
		電話	(046) 225-2460

厚木市生成A I サービス実証実験の実施結果について

1 目的

デジタル技術の活用による効果的・効率的な行政運営に取り組むため、人工知能を用いて生成される情報を活用し、効率化が見込まれる事務の洗い出しを行う等、本市における導入効果を検証することを目的に生成A I サービスの実証実験を実施しました。

2 実施スケジュール

- (1) 5月23日(火)から6月5日(月)まで
 - ・先行実証実験開始(特定部署の実施)
- (2) 6月16日(金)から8月23日(水)まで
 - ・全庁実証実験開始(申請による利用アカウント払出し)
- (3) 8月31日(木)まで
 - ・実証実験期間利用者アンケート回答期限

3 実施対象

- (1) 利用した生成A I サービス: ChatGPT (OpenAI 社)
- (2) 利用部署数: 36 部署
- (3) 利用職員数: 102 人
- (4) アンケート回答数: 83 人 (回答率約 81%)

4 アンケート結果

- (1) 利用頻度 約9割の職員は週1～2回程度利用
- (2) 利用目的 アイデアの創出、情報の検索、文章の作成や下書き、文書校正等
- (3) 利用目的の評価 文章の添削や校正、下書きアイデアの創出等は高い評価
情報の検索については平均的な評価
- (4) 時間削減効果 利用目的が文章の作成・下書き、アイデアの創出やソフトウェアの操作方法については高い時間削減効果
- (5) 全体満足度 約7割の職員が「やや満足」、「満足」と回答
- (6) セキュリティの課題 9割超の職員が課題はないと回答
- (7) 継続利用の希望 約9割の職員が継続して利用を希望

5 課題

- (1) 回答の精度に問題 ⇒ 質問方法等の手順、利用方法を職員に周知
- (2) 回答の正確性に欠ける回答 ⇒ 正確性は常に確認
⇒ 情報の検索には不向き

6 今後の方向性

アンケート結果から、業務の効率化が図られるとともに、利用満足度が非常に高く、継続利用を望む声が多数あることから、課題解決を図り本格運用に移行します。